



安積二小だより

創立150周年 「花と緑と思いやり ひとみ輝く 二小の子」

郡山市立安積第二小学校
学校便り No.11
令和7年 6月20日
文責：校長 齋藤和彦

◆◇ 校長室より ◇◇

～「あるお母さんのひとり言」～

前号の学校だより..No. 9と10には、校長の説教じみた、くどくど感が続きました。(少々..直球ぎみで、すみません。)登校がづらい..状況や子育てに悩んでいる(どうしたら良いか..)等々、～日々懸命に子育てしているはずの自分への不安や心配(親自身の悩み)があります。ちょっとでも..ほっとできればと..

『あるお母さんのひとり言』

を掲載しました。

あわせて『お弁当の日』

ある教室のできごとをどうぞ。

(だいぶ前の..むかし話ですが)

～ほんのり..していただければ幸いです～



毎朝..「早く起きて！ 早く食べなさい！ 宿題やったの！ プリントは！」って言ってますよね。

毎日、同じことを言い続け、慌ただしく時が過ぎます。よくわかります。私もそうでした。

小学校から中学、高校と成長するにつれて手がかからなくなりますが、次はお金がかかります。学費です。これはこれで大変です！

お金がかからなくなる頃には、子どもは家を出て行きます。成長して、さも一人で大きくなったように、頼もしくなって..。何だか、とても寂しいんですね。あの慌ただしい日々が、今はものすごく恋しいのです。

だから皆さん、日々大変ですが、少しでもやさしく..今を大切に、その慌ただしさをも楽しみながら味わってください。私は今またここで、皆さんの子と、その慌ただしさを味わうことができ幸せです。

(※ 学童保育に勤務する お母さんのひとり言)

◆◇ 校長室より ◇◇

～「お弁当の日」～

◎ 7月は、諸行事年間計画により
お弁当の日が2回あります。



《お弁当の日》 お弁当を忘れた子の心中は、習字道具忘れ..やノート忘れ..の比ではないはず...。朝の会で「忘れた..」事を言えずにドキドキして過ごす時間...、昼に近づくにつれてどれほどのことか...。昼になって..「大丈夫だよ」と言う担任の弁当ふたに、学級の友だちからの“やさしい一品”が山盛り..。なんて出来事も昔はたびたびありました。(お母さんから翌日の学級へのお手紙...もまた“ちょっといい話”に)

両親が共働き(弁当前日から夜勤)の2年生の女の子が自分で作ってきた『まん丸おにぎり1個』(きっと小さい手で懸命に丸めたのであろう作品)と、ラップに包んだ(きっと前日の夕飯おかずを残して持ってきたのであろう)『カレーコロッケ1個』のお弁当もありました。この子は「これ先生にあげる！」とコロッケを差し出すのです。「〇さんのおかずなくなっちゃうよ。」ニコニコして差し出す様子に、断るのもわるいなあと思いながら、いただきました。「代わりに先生のおかずで好きな1個あげる」と言うと、迷って迷って...煮物を指さしました。(2年生なのに遠慮の気遣いも...)私は、煮物の隣の大きなエビフライをあげました。周囲の男子が「いいなあ！ いいなあ！」連呼しましたが、知らんぷりして、お互いにコロッケとエビフライをニコニコしてパクパク食べました。

また、“キャラ弁”にキャーキャー群がる騒ぎの中、茶色い色合いの自分の弁当を隠すようにして食べていたという当時6年生だった子...～十数年経ってからの同窓会での教え子のこんな話も...。(今考えると、あのお弁当を恥ずかしいと思っていたことが、お母さんにわかったなあ...と)この子は今、立派に環境省で働いています。(毎日超忙しくて...コンビニ弁ばかりだそう。お母さんの茶色いお弁当を食べたいにちがいない)

また、まるで友達のような親子喧嘩ばかりの5年生の女子は、おかずの半分に“薄皮饅頭2個！”

(ふたを開けると、「やったなあ～！」昨夜の親子喧嘩の話をあけすけに...。でも、うれしそうに...)

お弁当の日は子どもを欠席させる家庭も...。そのため、お弁当の日は、必ずお弁当を2個持ってくる同僚の先生もいました。(「...大丈夫だから待ってますよ」と電話。【尊敬】)

お弁当忘れを伝える...担任の電話に「もっと大きく書いて知らせてくれないと！」と逆ギレ状態で、ファストフードの包装袋を届ける家庭もありました。

(中身はハンバーガーとポテトとコーラでした。※ハッピーなおまけまで付けて...)

『お弁当の日』子ども達にとって...。ちょっと楽しみな日であり『特別な日』なのです。

